

あかとう堂々

発行／飯綱町役場 企画課 地域振興係

Tel : 026 - 253 - 2511 FAX : 026 - 253 - 5055 E-mail : shinko@town.iizuna.nagano.jp

赤東未来創造プロジェクト 集落支援事務局〈赤東コミュニティ消防センター2F〉

携帯 : 080 - 7733 - 5627 E-mail : shurakushien@gmail.com



飯綱町出身のレゲエクルーたちによる座談会

六月一八日、三水第二小学校体育館を会場に、地域活性化を考える『Big Up! (ビッグアップ)』(盛り上げていこう) 赤東!』と題した講演会が開催されました。
この日は赤東区出身のAPPLE EYE (アップル アイ)さんをはじめ、飯綱町出身のレゲエクルーが結集、また世界で活躍されている沖縄出身のレゲエダンサー、I-VAN (アイバン)さんを迎え、レゲエで地域に元気をパフォーマンスと共に語っていただきました。

レゲエからのメッセージ 地域活性化に向けて Big Up! (ビッグアップ)

座談会では、レゲエ発祥の地ジャマイカという国の様子や、そこで自然と脈打つレゲエミュージックとダンス、その魅力などが話されました。貧しくとも、笑顔があり、皆が家族のごとく生活されているジャマイカの田舎文化は、どこか懐かしい日本の原風景に重なるということでした。

続いて、「レゲエダンス世界一」の称号を持つI-VANさんの講演。会場にいた子供たちをあとという間に引きつける話術とパフォーマンスは素晴らしく、そのエンターティナーの姿に圧倒されました。中でも、「ジャマイカでは親のいない子が少なくない。それでも必死で生きていく。みんなは幸せだよ。親がいて育ててくれるから。あたりまえじゃないよ。感謝して」と、子供たちを整列させ「ありがとう！」と大人たちに一礼。会場は拍手で響き渡りました。

休憩後は、レゲエクルー皆さんによるパフォーマンスで、生のDEE・JEYによるレゲエサウンドを堪能しました。



子供たちを先導し、体育館狭しと疾走するI-VAN(アイバン)さん

長野市からみえた三十代の女性は、「こうした活動を続けていく事で、自然と子供たちに引き継がれ、後の活性化につながると思います」と語られ、また、「飯綱町出身でこうして活躍されている方たちがいることを知り、子供たちにいい刺激になる」と五十代の男性から感想を聞きました。一方で、六十代の女性から、「若者音楽もいいけれど、軽音楽を生で聞く催しも」の希望もありました。
今後、そうした様々な意見等を聞きながら、こうしたイベントを定期的に関催できればいいですね。

赤東今昔物語 ⑨



田山花袋は
当時の村社会全般にいえる
因習に満ちた閉鎖社会と
自然児「重右衛門」との
対立関係を社会学的に
分析しようとしたんだ
あくまでも
作家という視点で



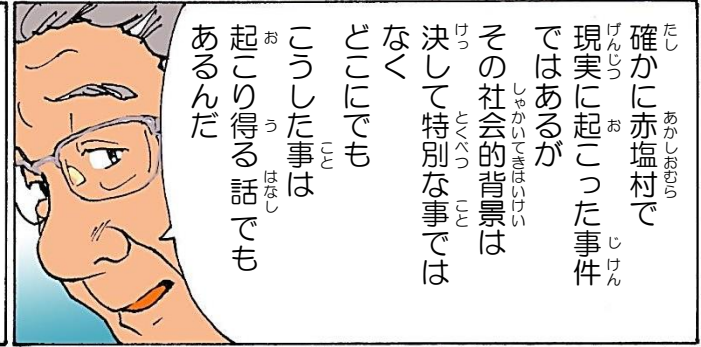
田山花袋は
自然主義派の
小説家
作品は
写実的に捉え、また
社会学を取り入れ
分析しようとする
視点で書かれて
いく



あのよ
赤東の風景を絶賛
している紀行文とか



でもどうせなら
素敵な題材で
書いてほしかったよね



確かに赤塩村で
現実に起こった事件
ではあるが
その社会的背景は
決して特別な事では
なく
どこにでも
こつした事は
起こり得る話でも
あるんだ



この風景・・・
変わらず未来永劫
守りたいですね



そう 時代とともに社会も人も
当時とはずいぶんと変化したが
紀行文そのままの風景を残す
美しい地区には変わりない

あとがき
六月一八日のイベントでは、会場の準備から後片付けまで、北部高校の生徒さんにお手伝いをしていただきました。重いものを運ぶ作業も多く、また暑い中本当にご苦勞様でした。とても清しく頼もしく思います。ありがとうございました。



全校児童による「みどりの少年団」で、1粒1粒やさしく蒔かれていきました。開花まで約2か月。楽しみです。

泉ヶ丘に荒地は似合わない
6月8日、第二小の子供たちとプール脇の荒地にひまわりの種を蒔きました。大きな石がガラガラとしていて痩せた土地でしたが、未来プロジェクトの皆さんによって畑らしい姿に変わり、約300粒ほどの種は丁寧に子供たちの手で蒔かれました。
ひまわりの持つパワーで元気のである景観づくりは、まず泉ヶ丘から！